

## 「本との出会い」

研究情報図書課 梶原しおり

私は本校の卒業生である。

私の人生における最も重要な本との出会いは、ここ、宇和島南中等教育学校の前身である、宇和島南高等学校の図書館であった。つまり、今の図書館である。確か三年生の夏休み。部活動を引退した後、それまでめったに訪れなかった図書館で手に取ったのが、司馬遼太郎の『竜馬がゆく』であった。もともと歴史好きだった私が、幕末にのめり込むきっかけとなった本だ。司馬遼太郎の文章は面白い。緻密な調査をもとに人格を作り上げ、登場人物に命を吹き込む。そして、彼の、時代や人間への深い洞察が、作品を重厚なものにしていく。当時の私の一推しは、主人公の竜馬であったが、その他大勢の登場人物も、みんな魅力的であった。それぞれの立場で、それぞれの方法で、新しい日本を作ろうとする熱気や躍動感、高校生の私に、「生きる意味」というものを考えさせた。

すっかり幕末の志士のとりこになった私は、京都にある大学へ行き、歴史学研究会というサークルにも入った。そこで出会ったのが、なんと、司馬遼太郎の『燃えよ剣』を読んで、新選組のとりこになった人たちであった。構図でいえば、敵である。しかし、いがみ合うわけにもいかない、私も『燃えよ剣』を読んでみた。やっぱり面白い。激動の時代、何が正解か分からない中で、自分の信じる道を突き進んだ人たち。その生き様を否定することはできないと思った。

ちなみに、新選組派の人たちとは今でも仲良しである。京都に行ったときは、新選組の屯所跡や京都霊山護国神社(竜馬と中岡慎太郎の墓がある)へ一緒に行く。ゆかりの地を訪れるのは、本当に楽しい。旦那とだけれど、最近が高知にある、武市半平太の生家へ行った。小説を読んで想像していた通りの風景だったので身震いした。

きっかけは、『竜馬がゆく』であった。17歳の私に、夢中になれるものを教えてくれた。それからずっと、心高なる豊かな時間を過ごすことができた。生活の中のほんの一部ではあるけれど、好きなものは、変わらず私をときめかせ続けている。それがどれほど支えになったことか。本との出会いが私の人生に与えてくれたものは計り知れない。

## 前期 2.8 冊 後期 5.9 冊 全体 4.6 冊

上記の数字は、昨年度 1 年間の貸出冊数の平均です。残念ながら、前期生も後期生も目標は達成できませんでした。全体で 6 冊に届かなかったのは、初めてだったので、ショックも大きかったです。

今年度も、図書館の貸出冊数の目標は 6 冊以上。そして、家庭読書も含めた全体の読書冊数は、17 冊以上。ぜひ、今年度こそ目標達成へ！！ 頑張りましょう！（なにとぞ、よろしくお願いします。）

図書館通信『みなみ』では、毎月、図書館からのお知らせや図書委員オススの本を紹介していきます。今回は、本の貸出しについてお知らせします。

### ☆図書館の貸出しについて☆

- |        |                                                                                                                 |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ☆利用時間  | 開校日の昼休み・放課後 5 時まで<br>(コピー機の使用も、昼休みと放課後 5 時までです。)<br>(コピーは、1 枚 10 円です。カラーコピーはできません。)<br>(両面コピーはできますが、20 円かかります。) |
| ☆貸出し冊数 | 一人 3 冊まで                                                                                                        |
| ☆貸出し期間 | 1 週間                                                                                                            |
| ☆延長手続き | 本に図書カードを添えて、カウンターで延長を申し出てください。                                                                                  |

### ～お知らせ～

- お待たせしました！『Newton』の払い下げを行います。2024 年 5 月から 2025 年 4 月までの『Newton』です。欲しい人は、5 月 16 日までに、赤松まで連絡してください。後日、希望者でジャンケン大会を行います。(無料です。)
- 現在、第 1 回目の本の購入希望調査をしています。せっかくの機会ですので、図書館で購入してほしい本がありましたら、学級の図書委員か赤松まで連絡してください。締め切りは、5 月 25 日です。
- 今年の本屋大賞が決まりました。阿部暁子さんの『カフネ』です。  
(ちなみに「カフネ」とはポルトガル語で「愛しい人の髪を優しく撫でる仕草」だそうです。  
そのほか、大賞にノミネートされていた 10 作品すべて図書館に揃いましたので、ぜひ借りにきてください。

